

3 ゾーニング

■ゾーニング計画

・公園整備のコンセプトや周辺地域とのつながりをふまえ、本公園には周辺地域との結節点となる空間や多様な活動を受け入れる広場や丘・森の空間など、5つのゾーンを以下のように配置する。

エントランスゾーン

- 各交差点や、大阪駅・西口広場からの顔となるゾーン。
- アクセスランタンや公園施設（建築物）の賑わいが、来街者を迎え入れる。



丘ゾーン

- ランドフォーム（緩やかな丘の地形）を感じるゾーン。
- 高低差と奥行きのある空間が、新たな公園体験を促す。



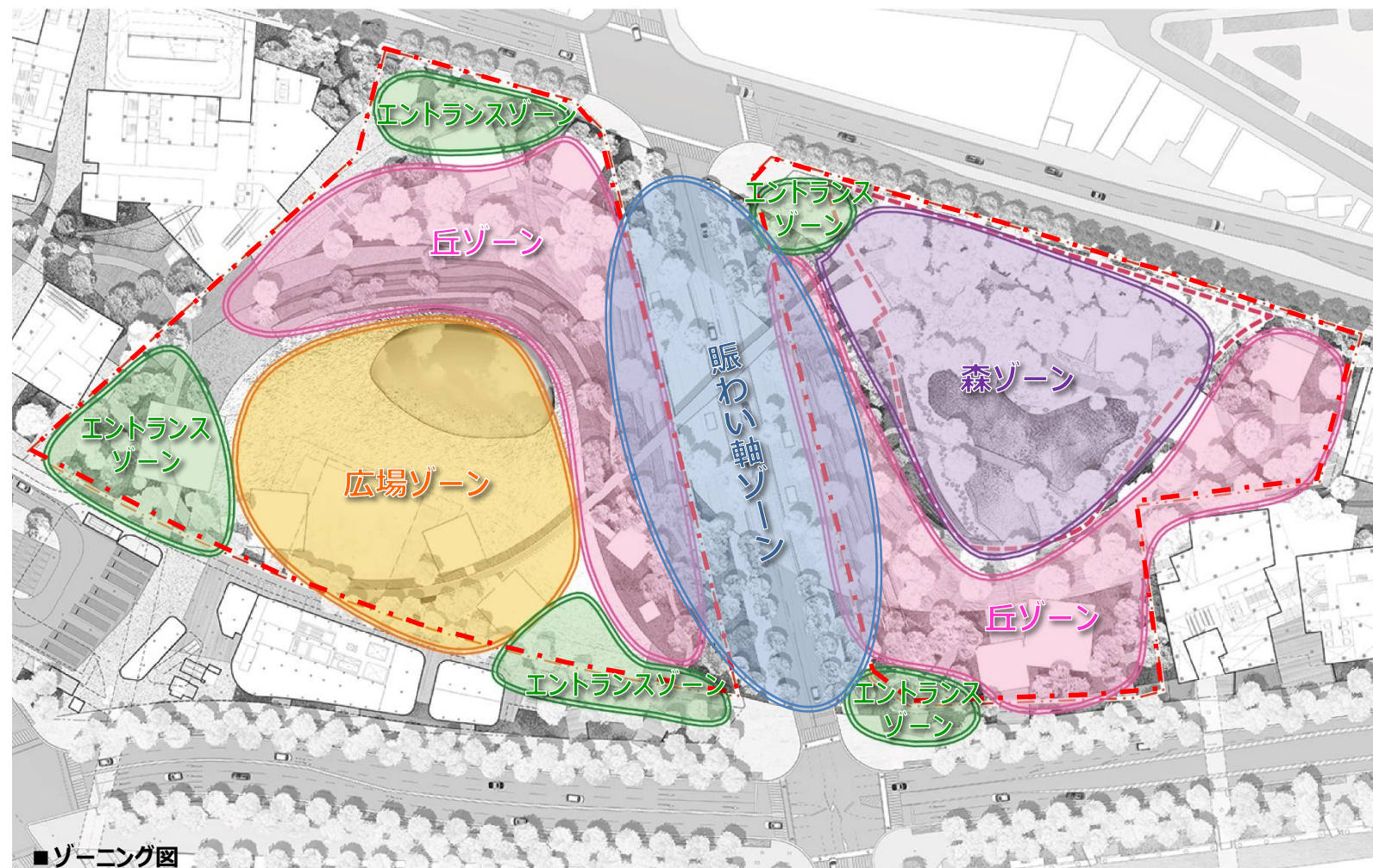
賑わい軸ゾーン

- 南北の公園を「賑わい」でつなぐゾーン。
- 公園と道路の一体的な利用ができる空間



広場ゾーン

- イベント広場ともなる大広場ゾーン。
- 多様な使われ方を受け入れる。



森ゾーン

- 市民の憩いとなる落ち着いたゾーン。

